

JAN

CONTENTS

能美産はとむぎ収穫…表紙
営農だより～寺井小はとむぎ収穫・たまねぎ～…P2
営農だより～コシヒカリ品評会・麦大豆表彰式～…P3
女性部だより…P4～6
JAグリーン能美～いいJAN～／青壮年部活動…P7
秋の収穫祭2024…P8 JA通信…P9
みどりチェック…P10



11

2024 NOVEMBER
No.560



JA能美 公式instagram
～FOLLOW ME～

 JA能美



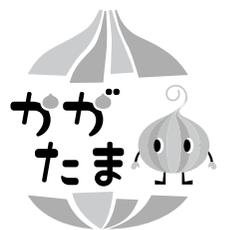
はとむぎの 収穫体験

10月10日(木)に寺井小学校5年生103人が「はとむぎ」の刈り取りを体験しました。
子どもたちの背丈よりも大きく育った「はとむぎ」を、JA能美はとむぎ部会のみなさんの指導のもと、鎌で1本ずつ丁寧に刈り取りました。
種まきから成長を見守り、自分たちで刈り取った「はとむぎ」を嬉しそうに抱えている姿が印象的でした。
農業の魅力や、能美市で「はとむぎ」を栽培していることを知ってもらいたいという思いで、今年初めて企画された農業体験。
収穫した「はとむぎ」は、はとむぎ茶に加工され11月6日(水)に子どもたちのもとへ届けられました。



JA能美管内は、県内最大のたまねぎ産地です。現在26名の部会員が栽培に取り組んでおり、今年度の作付面積は15haを計画しています。
今年も10月中旬から圃場での畝立て作業が始まり、11月中旬に定植が終わる予定です。
10月23日(水)には、機械メーカーの担当者を講師に迎えて、たまねぎ定植機の操作確認会が開催されました。操作方法やメンテナンスの仕方、苗箱が詰まった時の対処方法などの説明をしていただいた後に、生産者の方にも実際に機械を操作していただきました。
収穫は来年5月中旬より始まり、JAグリーン能美や地元のスーパー、青果店の店頭に並ぶ予定です。

たまねぎの 植え付け始まる



令和6年産 コシヒカリ品評会

10月19日(土)JA能美「秋の収穫祭」会場内において能美・川北産コシヒカリの品評会を開催しました。
12名の生産者から出品をいただき、審査の結果以下の方々が受賞されました。



写真右：(株)ななさとファーム 様
写真中央：西田 雅彦 様 ※ご欠席のため作田寺井支店長が代理出席
写真左：向井 則明 様

●南加賀農林総合事務所 所長賞

川北支店 **向井 則明** 様 (川北町中島)

●全農石川県本部 運営委員長賞

寺井支店 **西田 雅彦** 様 (大長野町)

●能美農業協同組合 代表理事組合長賞

辰口支店 **(株)ななさとファーム** 様
(宮竹町)

この度、有限会社 北次農場(川北町)が令和5年産麦・大豆生産改良優良者の「麦・農家の部」で知事賞を受賞されました。
この賞は、優れた生産技術で高品質・高水準の麦・大豆を生産した団体・法人や個人に授与されるものです。
令和6年10月19日(土)に、石川県産業展示館4号館で表彰式が開催され、表彰状を受け取られました。
また同会場では石川の農林漁業まつり実行委員会が主催する「第45回 石川の農林漁業まつり」が開催され、JA能美加工センターも出店させていただきました。会場を盛り上げました。



有限会社 北次農場

令和5年産 麦・大豆生産改良優良者知事賞を受賞



◆ 中央支部 ブドウ狩り体験 ◆

9月20日(金) 加賀フルーツランド

加賀フルーツランドでブドウ狩りを体験しました。スタッフの方から美味しいブドウの見分け方や、収穫方法の説明を受け、参加者は園内の美味しそうなおブドウを探しながら収穫を楽しみました。中腰の姿勢で収穫するため、農家のみなさんの大変さを実感することができました。



◆ 寺井支部 和菓子作り教室 ◆

9月27日(金) 寺井支店2階

佐野町の和菓子店「中村屋」の職人さんにお越しいただき、2種類の上生菓子の作り方を教えていただきました。参加者は手の力加減に四苦八苦しながらも完成させ、最後は抹茶と一緒に上生菓子をいただきました。職人さんのように上手に作るのには難しいことがわかりましたが、自分で作った上生菓子の味は格別だったようです。



◆ 辰口支部 生涯骨太クッキング ◆

10月8日(火) 岩内コミュニティセンター

能美市食生活改善推進員を講師に迎えて、低栄養予防や骨太になる料理教室を開催しました。今回は「豆腐の炊き込みご飯」、「野菜の肉巻きセイロ蒸し」、「人参とひじきの梅おかかきんぴら」、「みたらしかぼちゃ団子」の4品を調理しました。

豆腐入りの炊き込みご飯や、セイロ蒸しにヨーグルトソースをかける食べ方は珍しい組み合わせでしたが、どれも美味しくいただきました。



◆ 川北支部 料理教室 ◆

10月11日(金) 川北町百寿会館

秋の共同購入運動が始まったこともあり、エコープマーク品のメーカーの方を講師に迎えて、商品の活用方法を教えていただきました。「ゼリーの素」で2色ゼリーとコーヒー羊羹、「糸寒天」で鯖汁とホイコーロー、漬け物をつくる工程を見学しました。様々な調理方法を学んだ参加者は、さっそく家に帰って作ってみたいと意欲満々に話していました。



◆ 協力活動 ◆

9月28日(土)

女性センターフェスティバル(金沢市女性センター)

年に一度の女性センターフェスティバルが開催され、県内の女性組織の物販をはじめ、舞踊やダンスサークルの舞台発表、講演会、映画鑑賞会が行われました。JA能美も出店させていただき、物販コーナーで女性部員の手作り手芸品や、女性部加工部会の「のみちゃん押しずし」などを販売しました。



グリーンレディースカレッジ

★ 健康増進ウォーキング ★

10月17日(木) サンフィールド川北・手取川河川敷

ウォーキングインストラクターの石井敏子さんを講師に迎えて、今年4月にオープンしたばかりの川北町の運動公園「サンフィールド川北」を発着点に、部員45名が手取川の河川敷や堤防を歩きました。河川敷の公園では、石井先生がポールを使った階段の登り降りの方法を急遽レクチャーしてください、全員で階段を2～3往復しました。天気にも恵まれ、爽やかな秋風が吹く中でウォーキングするのは気持ちの良いものでした。



グリーンレディースカレッジ

★ 滋賀県研修旅行 ★

10月29日(火) 太郎坊宮

JAグリーン近江女性部との交流研修会が滋賀県・太郎坊宮で行われ、55名の部員が参加しました。今回の研修旅行では、今年2月の「全国家の光大会」記事活用発表で優秀賞を受賞されたJAグリーン近江女性部の徳本さんの発表を拝聴し、その後、JAグリーン近江女性部員10名とお互いの活動内容について意見・情報交換会を行いました。会場の太郎坊宮が神社の建物であることもあり、世界に一つしかないお守り作り体験も行い、楽しい交流会となりました。昼食には近江牛弁当をいただくことができ、心もお腹も大満足な一日となりました。

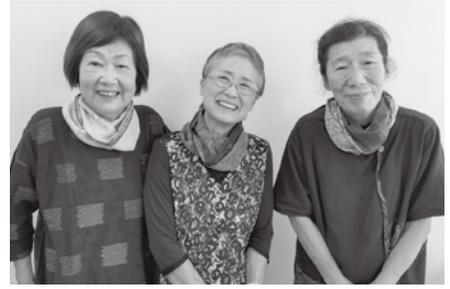
参加した部員は、JAグリーン近江女性部の活動内容は参考になることが多く、今後の女性部活動に反映できるよう、前向きに取り組んでいきたいと話していました。



◆ 手芸サークル「スヌード」作り ◆

10月18日(金) 寺井地区公民館

8月6日(火)のメガネケース作りに続き、使わなくなった着物やネクタイ生地などを再利用して、今回はスヌード(首に巻く輪っか状の布)を作りました。参加者17名は好きな生地を選び、手縫いで仕上げた素敵なスヌードを首に巻いて大満足の様子でした。



コラム『家の光』読みました!!

女性部役員が「家の光」の読みどころ、感想をお伝えしてまいります!

畑の時間

2024年11月号(P179)

JAN能美女性部 辰口支部長 道下 三枝子

私は毎月『畑の時間』(179ページ)の記事を楽しみにしています。

11月号はイチゴとルッコラの家庭菜園のポイントについてでした。毎年の栽培だから、いい加減になってくる私の作業。『畑の時間』を参考に、自分の作業をリセットしていきます。

また、『すてきに咲かせるガーデニング草花』(176ページ)の記事も楽しみにしているひとつです。園芸に幅広い知識と経験を持つプロが栽培ポイントを分かりやすく教えているのが気に入っています。

家庭菜園やガーデニングに興味のある方には、ホントにお勧めです!私も毎回楽しみに待っているページです。皆さんぜひ読んでみてください!!



今後の予定

*支部活動は各支店へ、グリーンレディースカレッジ及び手芸サークルについては総務部へお問い合わせください。

- 11月20日(水) グリーンレディースカレッジ⑥ **発酵食の講習会** 場所: 寺井地区公民館3階
- 12月11日(水) 手芸サークル **のし袋作り** 場所: 未定
- 12月14日(土) グリーンレディースカレッジ⑦ **門松作り教室** 場所: ラック倉庫



味噌づくり 参加者募集

みそ造りのお申し込み締め切り日は
12月3日(火)

- ★初めての方も大歓迎!
- ★近年ご参加いただいた方には別途ご案内いたします。



女性部では麴から自分たちの手で仕込む家庭用みそ造りを、毎年1月上旬から2月上旬にかけて行っています。加工施設で3日間(毎日午前中)、和気あいあいと楽しく仕込みます。

日本の伝統的な発酵食文化を体験したい方、手作りの安心安全な「みそ」に興味がある方のご参加をお待ちしております!

参加をご希望される方は、支店または下記の女性部事務局へお申込みください。

女性部・家の光などに関する
お問合せ、お申込みは

☎ (0761) 57-3505

(総務部 女性部事務局:吉田・野原) まで お気軽にお電話ください。



獅子座 (7.23~8.22)

【全体運】 予想外の出来事はあるもの。出先でも避難経路の確認を。落ち着いて動くことが大切です。救急セットを点検して
【健康運】 目のケアを重点的に。歯の磨き残しもチェック 【幸運の食べ物】 小松菜



乙女座 (8.23~9.22)

【全体運】 良好運ですが心配事も。戻すほみにならないよう気を付けて。周囲への配慮が好結果に結び付きます。旅行が吉
【健康運】 免疫力がアップする食材を取り入れて 【幸運の食べ物】 クワイ

能美市特産「加賀丸いも」

販売開始します!



モチリとした強い粘りと高い栄養価が自慢の「加賀丸いも」。今年も出荷の時期を迎えました!

今年の初競り・初出荷は11月19日(火)の予定です。

JAグリーン能美では11月下旬から小袋と、お歳暮などの贈答用にオススメの箱入りが売場に並びます。なお、「加賀丸いもそば」(乾麺)は通年で取り扱っております。

JA能美丸いも部会のみなさまが丹精込めた結晶を、ぜひご賞味ください。

11月
23日
(土)

「姫九谷コシヒカリ」の 試食会を開催します!

JAグリーン能美に当日ご来店いただいたお客様へ日頃の感謝を込めて、能美産ブランド米「姫九谷コシヒカリ」の試食と豚汁を振る舞います。みなさまのご来店を心よりお待ちしております。
※数に限りがございます。無くなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

姫九谷コシヒカリとは…?

能美市寺井地区を中心に生産されている“より安全で、より美味しい”コシヒカリです。JA能美オリジナル肥料を使用しており、姫九谷部会員17名全員が環境に優しく安心安全に努めている生産者であるとして、石川県エコ農業者に認定されています。



青壮年部中央支部活動

管内の交通事故

ゼロを目指して

10月19日(土)に青壮年部中央支部と中央支店職員9名で、交通事故の減少を願いカーブミラーの清掃活動を行いました。

汚れで見えづらくなっている箇所が多々あり、汚れを落とすのが大変でしたが、この活動を続けることで地域の交通事故を一件でも減らすことに繋がればと思います。

秋冬は夜間の事故も増えてきますので、みなさんも注意して運転するように心がけていきましょう!



【全体運】
【健康運】

天秤座 (9.23~10.23) おいしいものを食べたりおしゃべりを楽しんだり。運勢は穏やか。懸念事項も解決へと向かいます。連絡は自分から体に合った下着を身に付けて。姿勢をチェック 【幸運の食べ物】 シュンギク



【全体運】
【健康運】

蠍座 (10.24~11.22) 太陽の加護を受け勢いがありますが油断は禁物。丁寧にしっかりと仕上げをすることが幸運につながります 栄養バランスを考えた食事で元気を回復 【幸運の食べ物】 トレビス

秋の収穫祭

10月19日(土)、10月20日(日)に
JA能美「秋の収穫祭」が開催されました。
悪天候の中、大勢の方にご来場いただき、
誠にありがとうございました。



 射手座 (11.23~12.21)

【全体運】 上昇運です。強気の態度がツキを呼び込みます。自分の意見をはっきり伝え、その上で調整を図っていきましょう
【健康運】 筋力アップの運動にツキあり。スポーツも◎ **【幸運の食べ物】** ネギ

 山羊座 (12.22~1.19)

【全体運】 状況は落ち着きを取り戻し自由時間が増えていきます。仕事のスキルを磨くのもお祝い事も吉。よく学んで
【健康運】 新陳代謝を高める食材を取るよう心がけて **【幸運の食べ物】** サトイモ

「みどりチェック」に取り組みましょう！

（環境負荷低減のクロスコンプライアンスについて）

どうして農林水産業で環境負荷低減に取り組まなければならないの？

大規模自然
災害の増加

地球温暖化
による
気候変動



農林水産業には環境により多面的機能がある一方で、
環境に負荷を与えている側面もあります

農林水産業は環境の影響を受けやすいことに加え、農林水産業自体が環境に負荷を与えている側面もあります。

このため、日頃の事業活動の中で新たな環境への負荷が生じないように、7つの基本的な取組を実践することが重要です。

「みどりチェック」に取り組むことで、皆様が日頃から環境にやさしい取組を実践されていることを明らかにし、消費者の理解と評価を深めることにもつながります。

「みどりチェック」は
誰もが取り組める
環境負荷低減への
「初めの一歩」です。

「みどりチェック」の7つの基本的な取組とポイント

✓ 適正な施肥	✓ 適正な防除	✓ エネルギーの節減	✓ 悪臭・害虫の発生防止	✓ 廃棄物の発生抑制 循環利用・適正処分	✓ 生物多様性への悪影響の防止	✓ 環境関係法令の遵守
例えば… 肥料のムダをなくす	農薬を正しく使う	省エネを行う	臭いや害虫の発生源の管理	ゴミ削減 資源の有効活用	不必要な防除の削減	法律を守る等

「みどりチェック」の実施手続き

チェックシート
の記入・提出



チェックシートの例（抜粋）

申請時 (します)	報告時 (しました)
(1) 適正な施肥	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

取組内容の確認



申請

取組の実践

報告

確認

農林水産省の補助事業等に申請する際に、チェックシートの各項目を読み、該当する全ての項目にチェックを付けて提出の上、取組を実践してください。

令和6年度

+

取組を実践した上で、事業の報告時にチェックシートを提出してください。また、国の担当者が、現地での目視・聞き取り等により、抽出された者に対して取組内容の確認を行います。

令和7年度

お問合せ先

北陸農政局石川県拠点
☎ (直通) 076-241-3154

農林水産省HP
「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」
はこちらから！

